

環境省・北海道・斜里町

知床五湖の利用のあり方に関する検討状況について

1. 背景

(1) 課題

- ①環境の保全：利用者の踏みつけ等による植生への影響
- ②安全の確保：ヒグマとの遭遇の危険性・ヒグマが人に慣れる危険性
- ③快適な利用：混雑により、世界自然遺産である知床五湖らしさが感じられない

(2) 解決策→利用者の棲み分け

一般利用者→安全な高架木道

より深い自然体験を求める利用者→コントロールされた地上歩道

2. 検討・調整状況

知床五湖における利用のコントロールと高架木道の延長について、関係行政機関（環境省、北海道、斜里町）と地元住民（ウトロ地域協議会）で、平成 19 年 8 月 1 日から 11 月 29 日までに「知床五湖の利用のありかたに関する地元協議」を計 6 回開催し、高架木道の延長（1 湖西側まで）と、利用のコントロールを進めることを確認。

3. 今後のスケジュール（見込み）

- 平成 20 年 4 月～ 高架木道の設計、五湖園地全体の計画（受付施設を含む）
オーバーコースに関する調査・検討
利用のコントロールに関する詳細な検討・調整
- 平成 20 年 10 月～ 高架木道延長着工
- 平成 22 年 3 月 高架木道完成
- 平成 22 年 5 月 利用のコントロール開始